

# JICA食と農の協働プラットフォーム 第4回年次フォーラム

## アンケート結果と今後の活動に関する提案

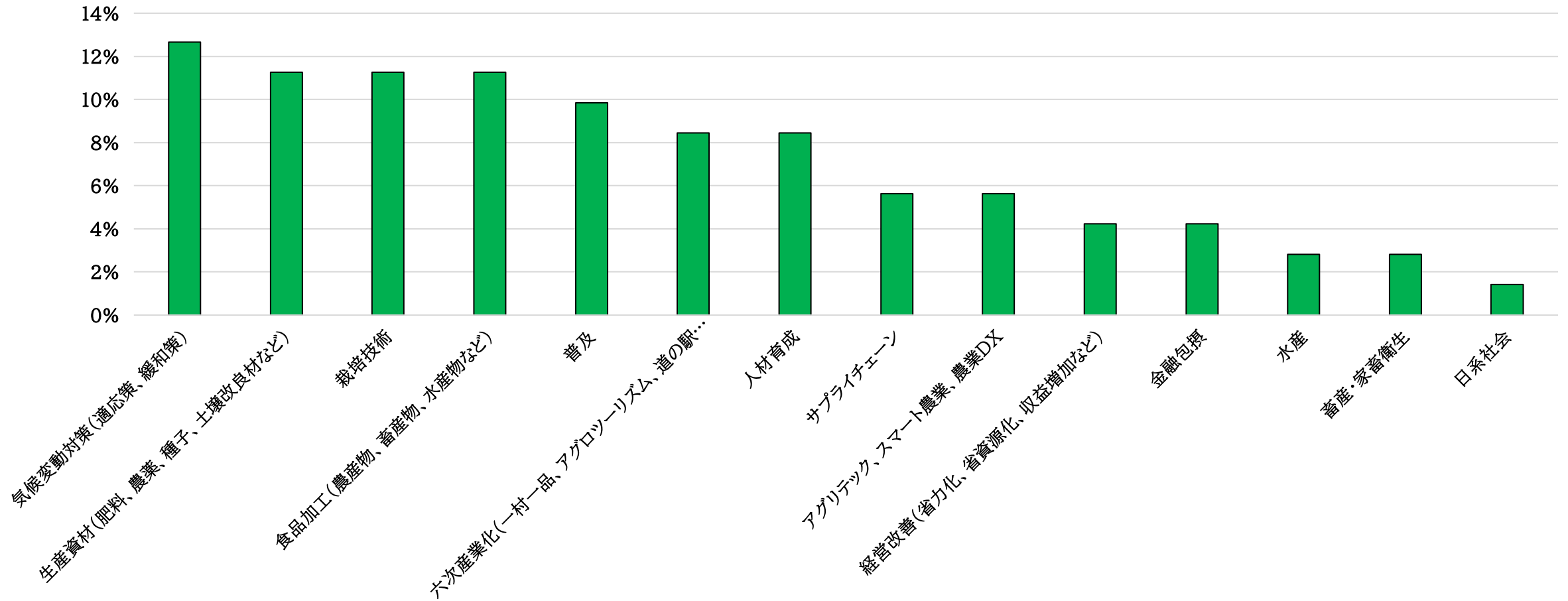
### 目次

- 1. 第4回年次フォーラム アンケート実施の目的(スライド2)
- 2. アンケート結果の概要と傾向①～④(スライド4～7)
- 3. アンケート結果を踏まえたJiPFAの取り組みの方向(スライド8)
- 4. (参考)全アンケート結果(スライド9～17)

# 1. 第4回年次フォーラム アンケート実施の目的

- 【目的1】 本フォーラムに参加したJiPFA会員様の以下の情報を、今後の交流の話題として抽出する。
  - ① 関心のある分野
  - ② 関心のある分野における課題とチャンス
  - ③ 課題をチャンスに変えるために要望するJICAスキーム、JICA人材
  - ④ 紹介・公開可能な経験、教訓、技術、サービス
- 【目的2】アンケート結果を踏まえたJiPFAの取り組みの方向性を設定する。

# 【1】JiPFA会員の関心がある分野



## 2. アンケート結果の概要と傾向①

- 関心のある分野で最多であったのが、**気候変動対策(適応策、緩和策)**であった。アンケート結果は全会員ではなくフォーラム参加者のみであることを割り引いても、会員登録時に記載いただく、「ご関心のある課題・国」と比べ多い。
- 他の関心のある分野にも**直接的、間接的に影響を及ぼす分野**であり、また**近年毎年、世界で異常気象が多発していること**も関係すると思われる。

## 2. アンケート結果の概要と傾向②

- 次に多かった回答群が、生産資材(肥料、農薬、種子、土壤改良資材など)、栽培技術、食品加工(農産物、畜産物、水産物など)であった。品質向上、安全、加工等による付加価値向上はJiPFA設立当初から関心の高い分野である。
- このうち、生産資材(肥料、農薬、種子、土壤改良資材など)については、コロナ禍、ロシアのウクライナ侵攻等を原因とする世界的なサプライチェーン停滞による食料、生産資材の高騰も関心の高さに繋がった可能性がある。

## 2. アンケート結果の概要と傾向③

- 関心ある分野の課題解決、課題をチャンスに変える手段として関心のあるメニューでは、**中小企業・SDGsビジネス支援事業**(一般公開済み報告書を含む)、**草の根技術協力**が多かった。
- また、コンタクトを要望するJICA人材としては、**プロジェクトの現場にいるJICA専門家**が最も要望が高い。次いで、JICA筑波で民間企業とJICA研修員・JICA留学生が交流を持つことにより間接的な市場調査も可能である**農業共創ハブの共創セミナー**が高かった。

## 2. アンケート結果の概要と傾向④

- 紹介、公開可能な経験、教訓については、「**事業準備、立ち上げで得た教訓**」、「**事業運営(法務、コミュニケーション文化等で得た教訓)**」の2つが回答の9割を占めた。
- 紹介、公開可能な技術、サービスについては、「**高付加価値化(例:食味、栄養価、安全安心)**」が最も多く、次いで「**販路開拓**」、「**人材育成(例:ノウハウの形式知化による伝承)**」の2つが次に多かった。

## 【2】アンケート結果を踏まえたJiPFAの取り組みの方向

アンケートにより、「関心のある分野」、「それらの分野における課題とチャンス」、「課題解決、課題をチャンスに変える手段として活用したいJICAメニュー、交流や関係を持ちたいJICA人材」の傾向を知ることができた。

これらの傾向から、今後は以下を念頭においた活動にも取り組んでいく。

### ➤ 交流機会、ネットワーク形成のきっかけづくり

各分科会のテーマ設定(例:課題をチャンスに変える取り組み)、及び講演者の選定(例:アンケートで要望の高かったJICA専門家、専門家経験者、中小企業・SDGsビジネス支援事業の経験のある民間企業等の方々等)の参考とする。

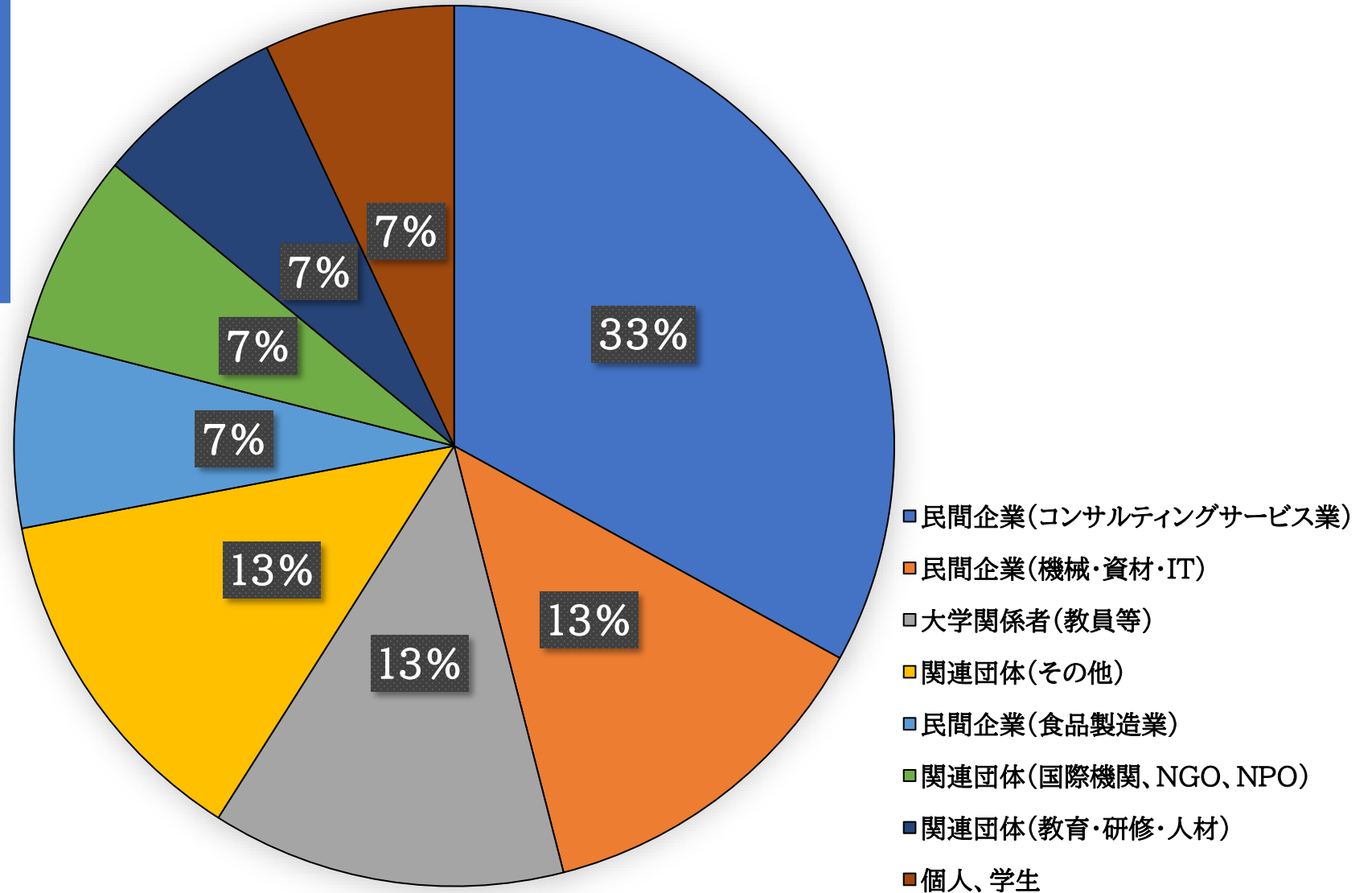
### ➤ 情報発信

JiPFAのホームページ、及びメールマガジン(JiPFA通信)を通じ、関心ある分野、その課題、チャンスに重点を置いた情報を紹介する。

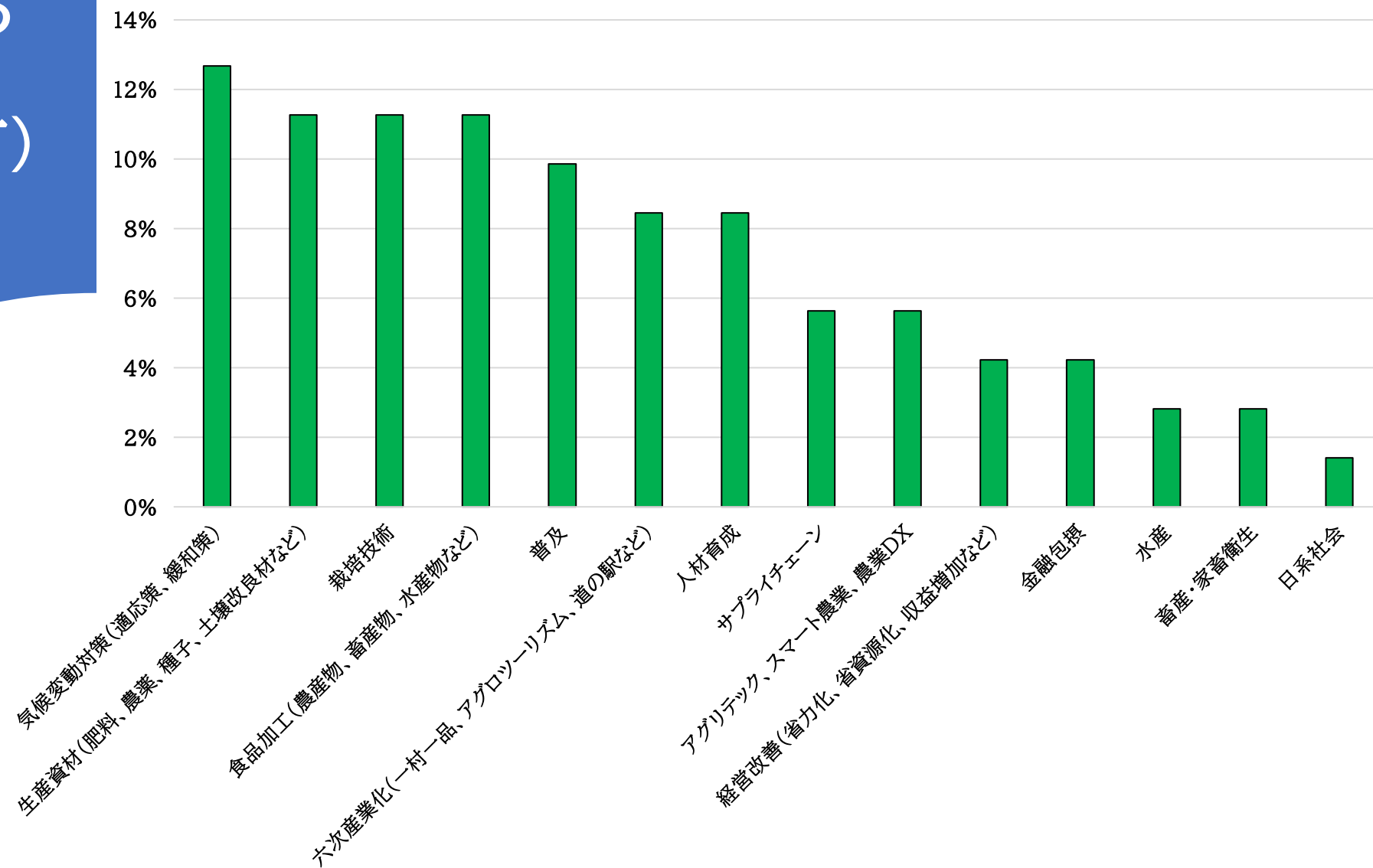


# (参考)全アンケート結果

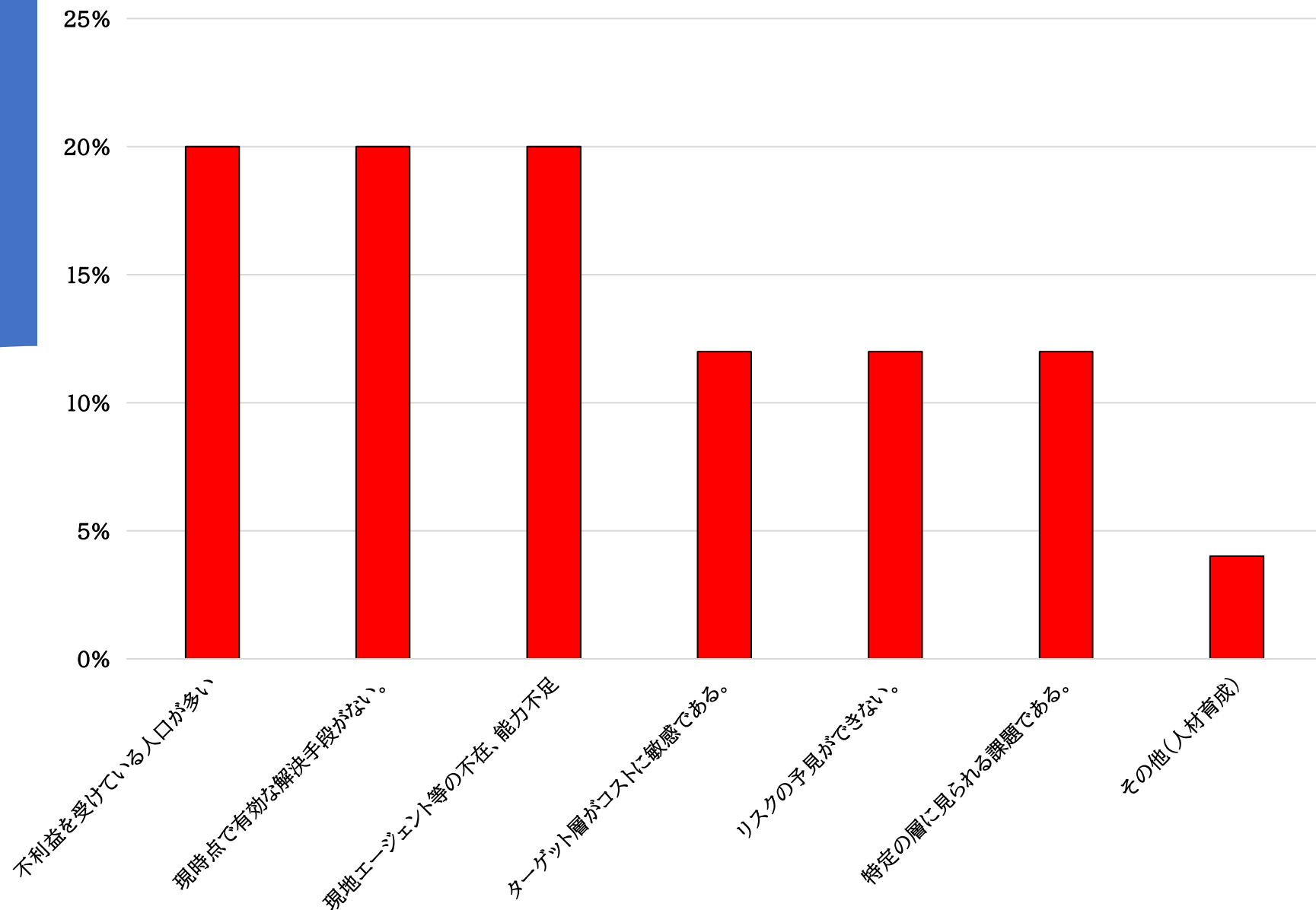
# 1. 回答者の業務分野



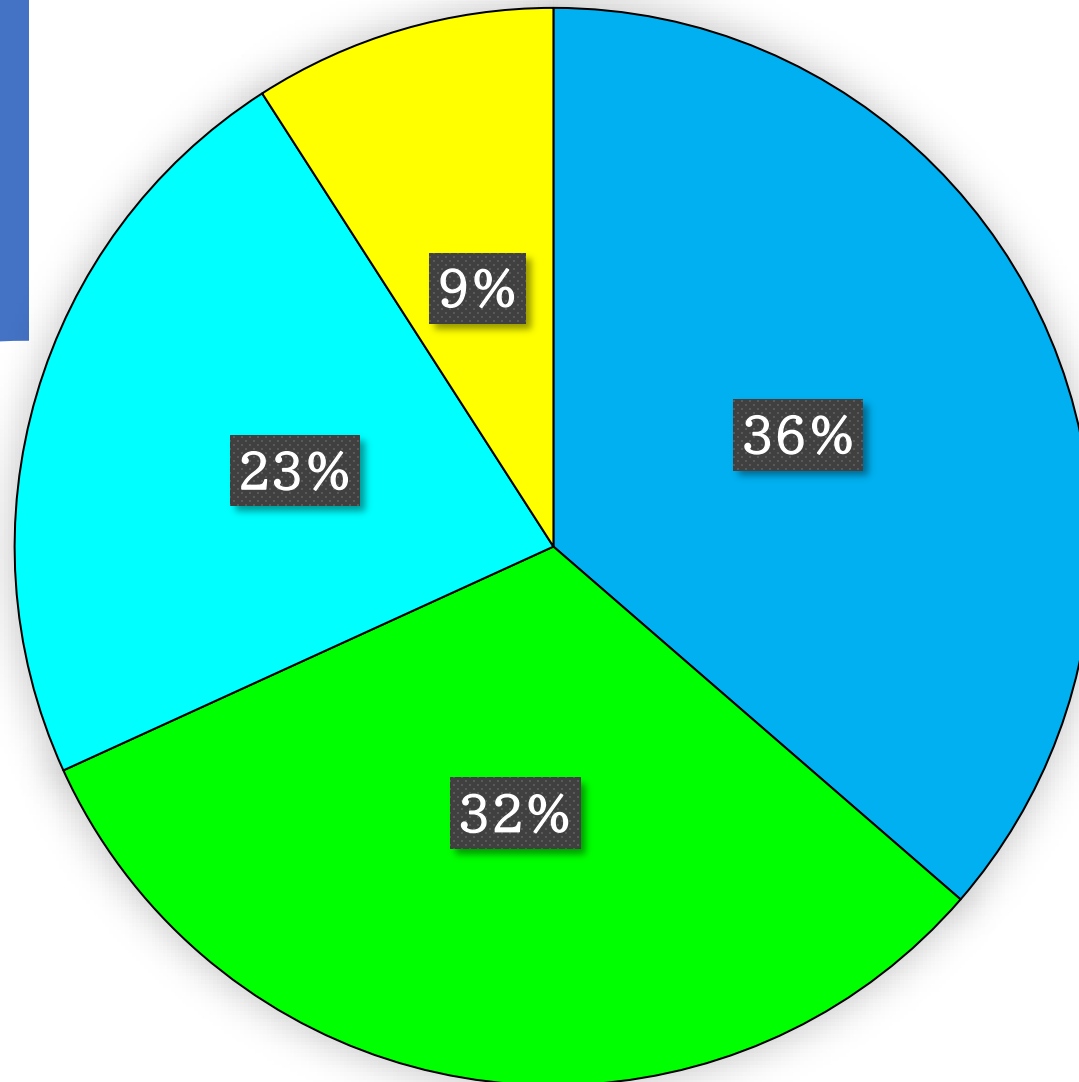
## 2. 関心のある分野 (複数回答可)



### 3. 前項の関心のある分野の課題 (複数回答可)

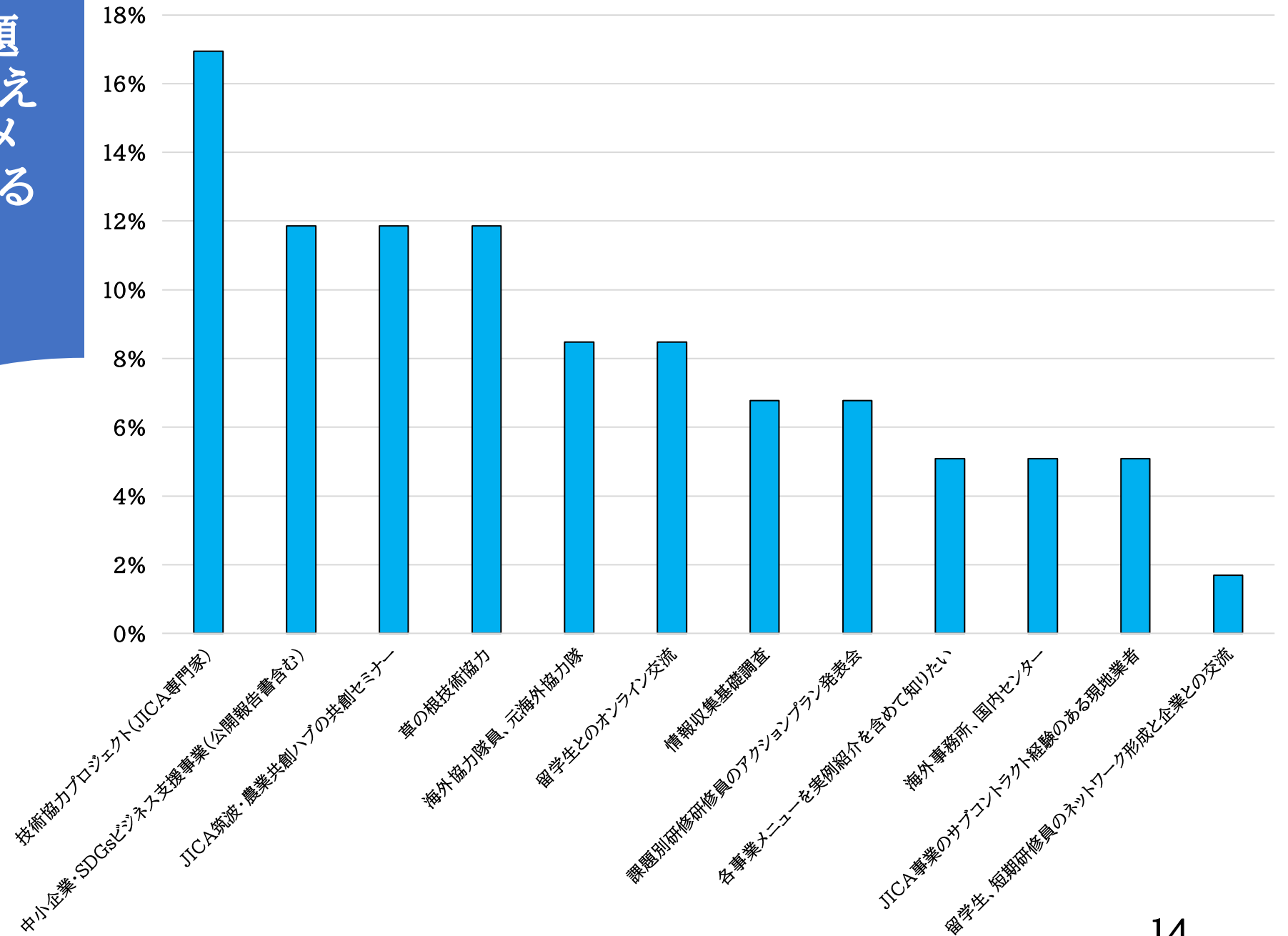


#### 4. 前項の関心のある分野のチャンス (複数回答可)

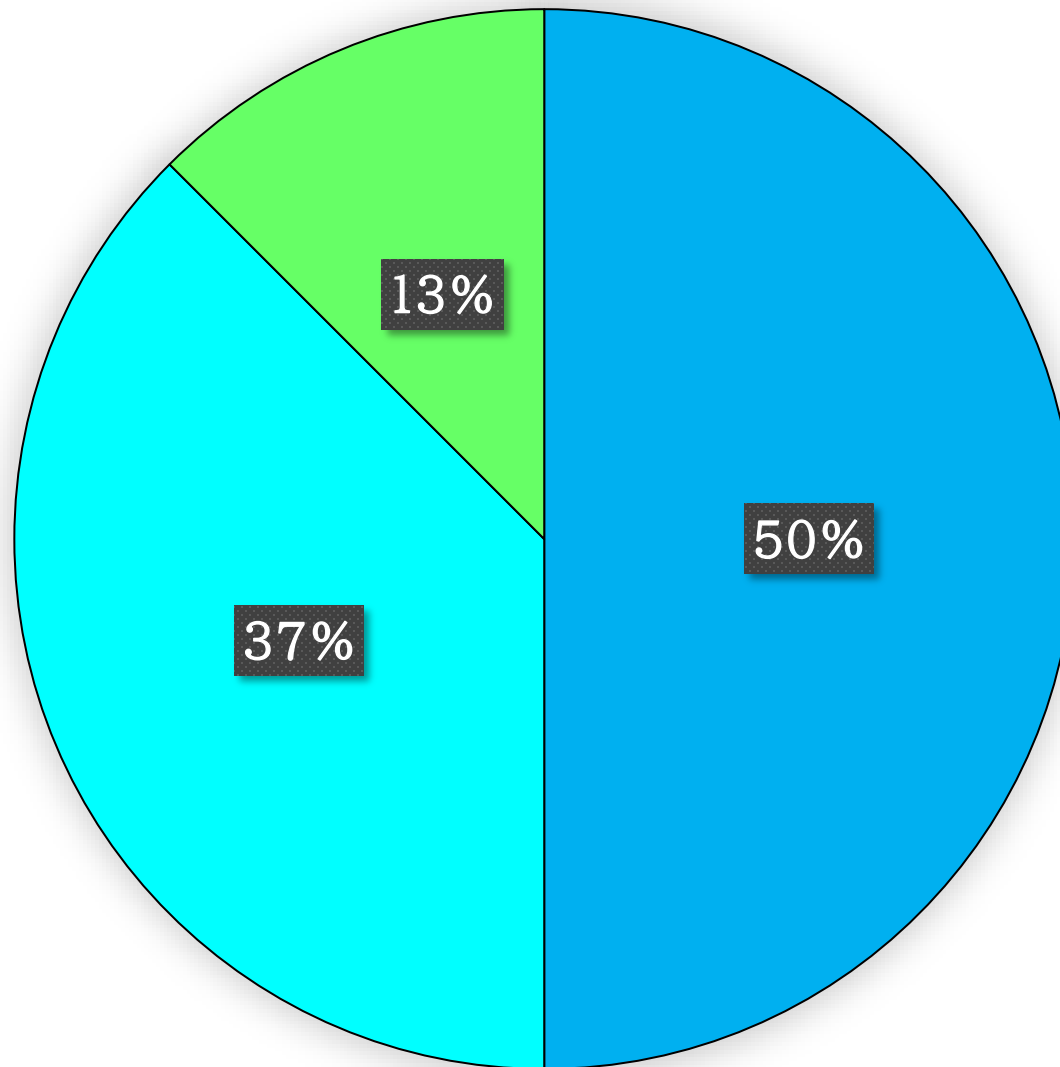


- 現在、研究、開発中の製品やサービスで課題解決に資する見込みがある
- 市場の成長が見込まれる
- 不利益を受けている人口が多いため、市場規模が大きい
- 現在不遇な特定の層をターゲットにした場合、競合相手がいない

## 5. 課題解決、課題をチャンスに変える、JICA事業メニュー、要望するJICA人材 (複数回答可)

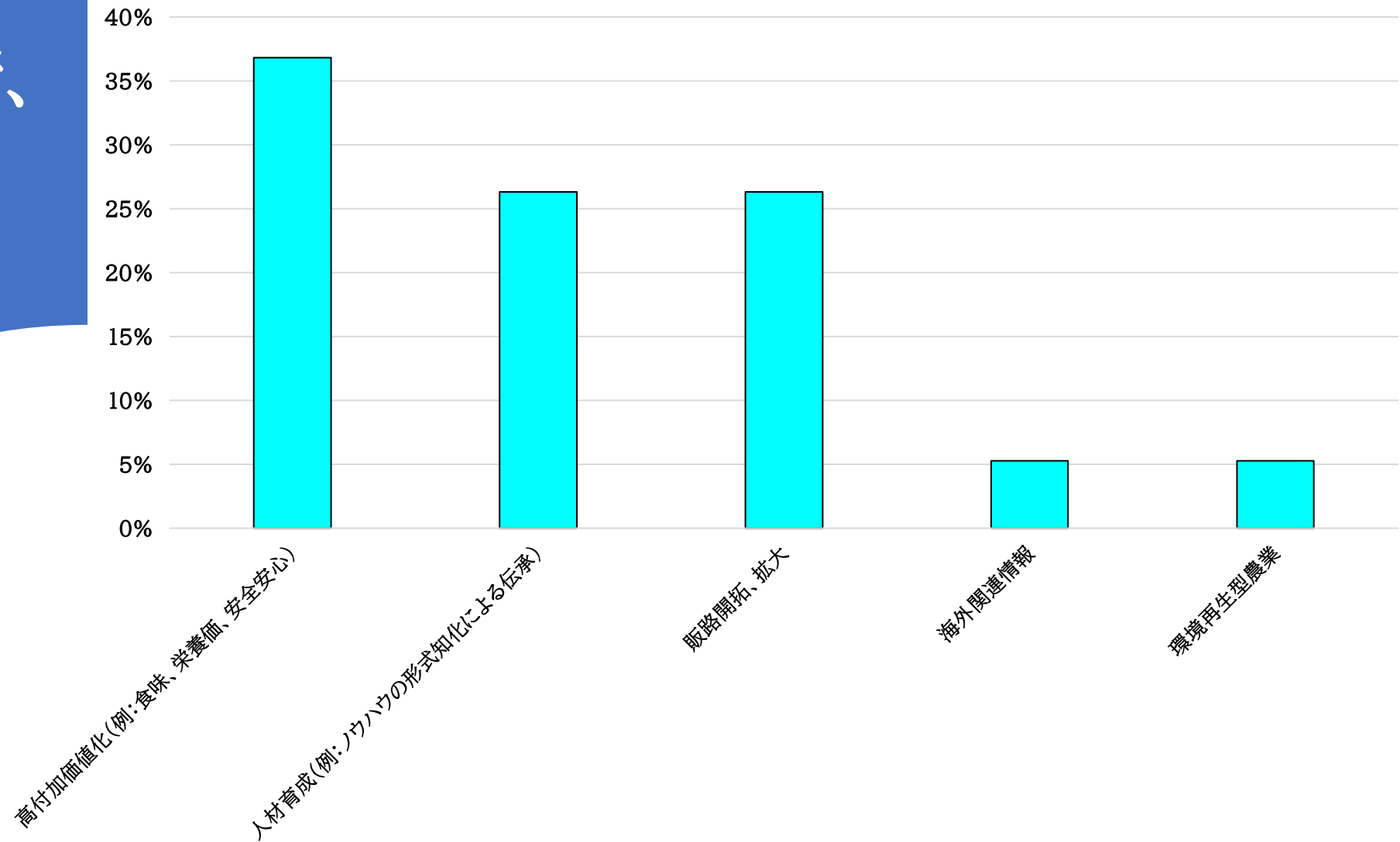


## 6. 紹介、公開可能な経験、教訓 (複数回答可)



- 事業準備、立ち上げで得た教訓
- 事業運営(法務、コミュニケーション文化等)で得た教訓
- 事業展開を検討するうえで情報収集に有用であったウェブサイト

## 7. 紹介、公開可能な技術、サービス等 (複数回答可)





## 8. 自由記載

(運営に関する助言、応援コメントはここでは割愛いたしますが、今後の改善への活用や励みとさせていただきます。)

TOKYO8グループの発表は、アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ留学生(ABE留学生/帰国留学生)との連携やビジネスモデルは、企業と留学生、研修員との関わりのあり方の参考となるものであり、意義深かった。

海外展開を志す「きっかけ」の事例紹介は、現地で実際に体験した内容を踏まえた情報発信があると学びが多いと思われる。今後、同様の紹介をする場合、「きっかけ」と「現地での活用体験」の情報を結び付けて紹介すると良い。

今後、大規模な災害が頻繁に起こる可能性もあり、生産面での努力や必要資源の見直し(昆虫食等を含め)が必須と考える。それらの分野への取り組みをJiPFAでも取り上げてほしい。